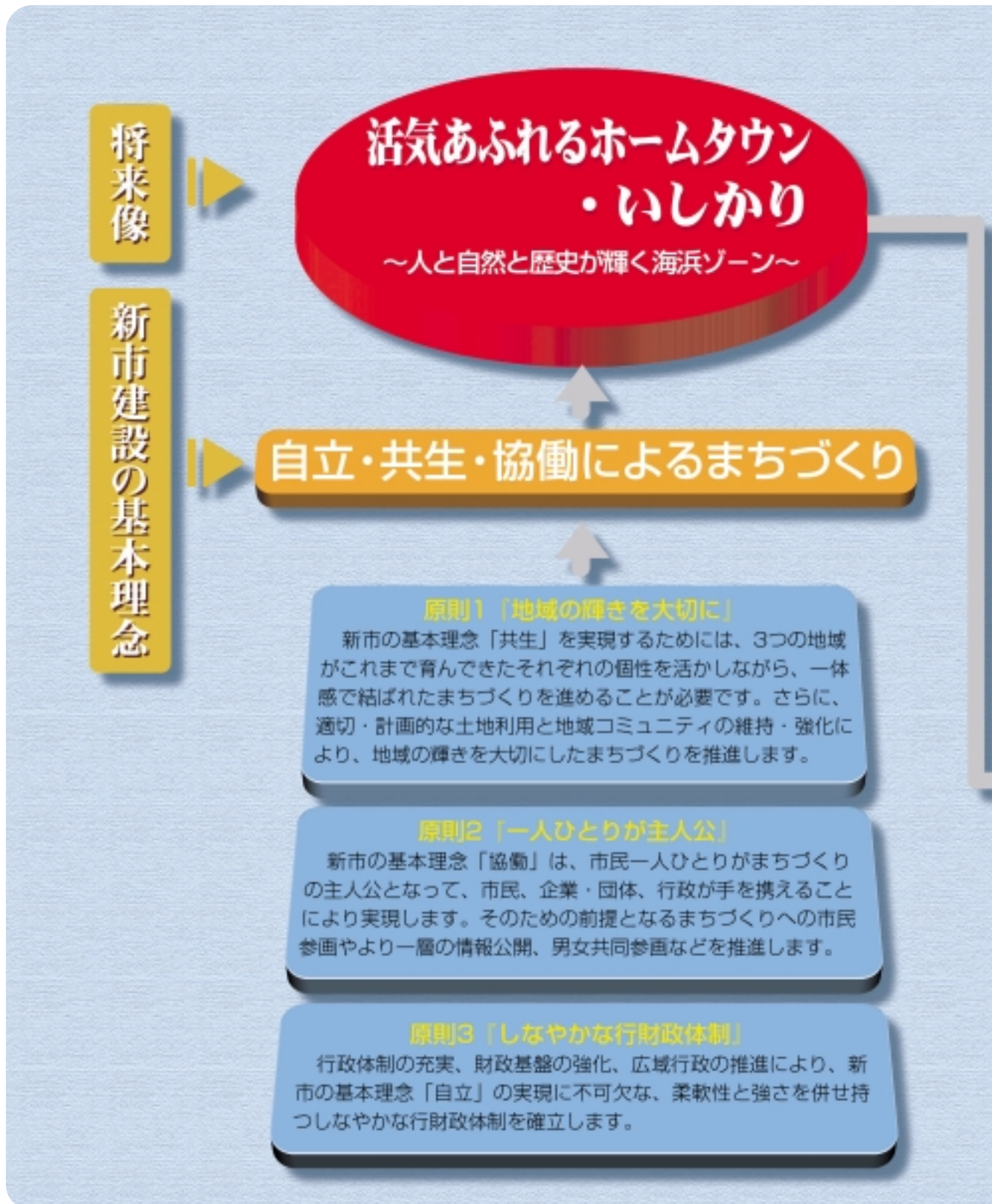


新市建設の基本理念とまちづくりの方針

「自立・共生・協働によるまちづくり」という新市建設の基本理念を土台として、新市が「～人と自然と歴史が輝く海浜ゾーン～」としました。

その将来像の実現に向けて、さらに5つのテーマと3つの原則を設定して、バランスのと



めざす将来像を「活気あふれるホームタウン・いしかり

れた総合的なまちづくり施策の展開を図ることとしています。

テーマ
1

しっかり！暮らしの基盤

道路交通網や情報通信網、上下水道、住環境、防災体制の整備など、市民が暮らすための基盤整備を進め、新市の均衡ある発展と安全で快適なまちをめざします。

テーマ
2

はつらつ！日々の暮らし

少子・高齢化時代に対応して、保健・福祉・医療の環境整備や、子育て支援環境づくり、生涯にわたる健康づくりを推進し、市民が毎日をはつらつと過ごすことができるようなまちをめざします。

テーマ
3

もりもり！まちの活力

札幌市に隣接するという好立地条件と国際的な港湾機能、さらに地域の資源を活かしながら、農林業・漁業や商工業・観光産業の振興を図るとともに、新規産業づくりにも力を入れ、新市の経済的自立性を高め、元気で活力のあるまちをめざします。

テーマ
4

きらきら！風、みず、みどり

市街地や農山漁村など地域の実情に配慮しながら、生活環境の整備・保全を進めるとともに、自然環境の保全、循環型社会システムの構築を進め、新市が誇る豊かな自然と快適な環境を良好な状態で残すようなまちをめざします。

テーマ
5

すこやか！みんなの心とからだ

子供が心豊かに育つ学校教育の充実を図るとともに、市民が生涯にわたって自主的、主体的に学び続けることができるような環境の整備を進めます。また、新市の共通財産ともいえる地域固有の歴史や伝統、文化を保存継承するとともに、これらを踏まえながら新しい市民文化の創造をめざします。

土地利用の方針

石狩市・厚田村・浜益村における、土地利用の現況を基本として、合併するとした場合の新市全域の大きな視点に立って、ゾーニング・拠点化を設定し、各ゾーンの特徴や地域資源を活かしたまちづくりを進めていきます。

市街ゾーン

良好な住環境の確保に努めます。
都市基盤や都市機能の充実による、新市の中心都市核の形成を図ります。

港湾ゾーン

時代に対応した土地利用の見直しや地域の利便性を高める検討を図ります。
石狩湾新港の魅力向上の取り組みを進めます。

農業ゾーン

農地の保全を図りつつ、農業経営安定のための取り組みを支援します。
市民・都市住民との交流を図る観光型農業、農業体験等を促進します。
生産地としてだけではなく、新しい農村生活文化の発信地として整備を進めます。



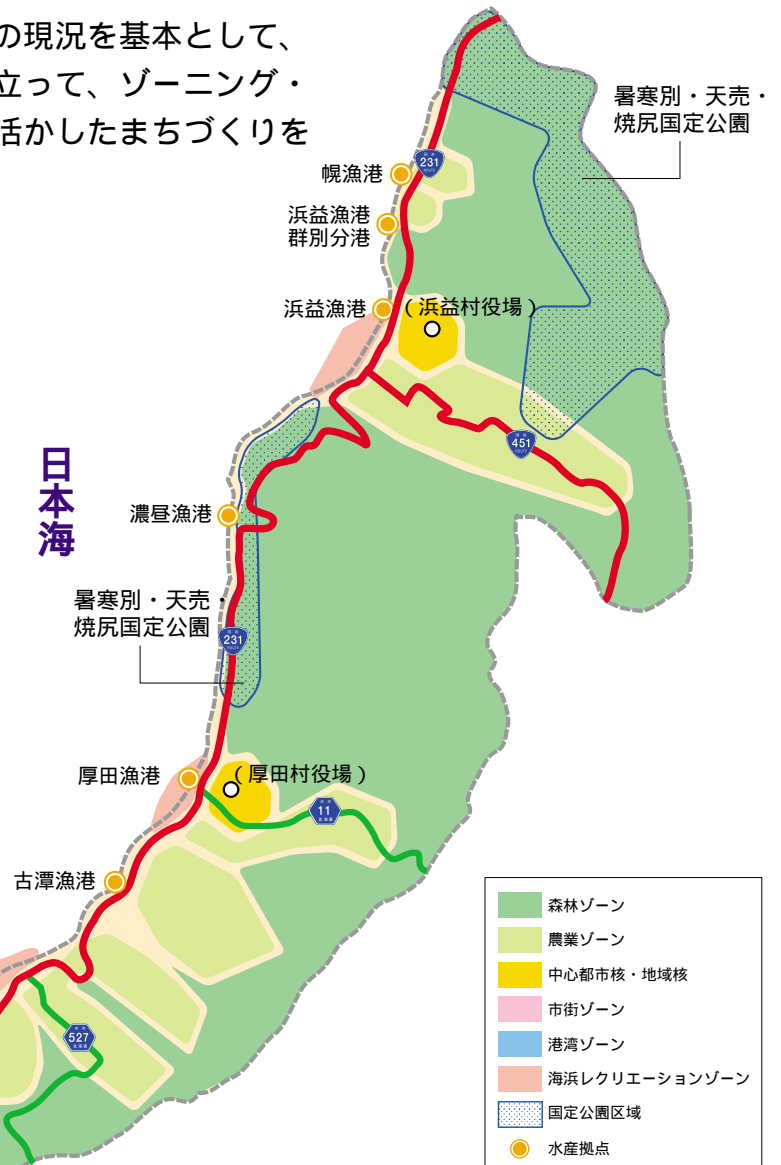
「森林ゾーン」「国定公園区域」

森林の保全整備を進めます。
“やすらぎ”“いやし”の場や、環境の保全、水源の涵養の場として多目的な活用を図ります。
暑寒別・天売・焼尻国定公園区域については、関係機関と協議のうえ、その保全と利活用について検討を進めます。

海浜レクリエーションゾーン

自然環境の保全と調整を配慮しながら、朝市や砂浜、海浜植物、マリンスポーツなどが楽しめるエリアとして整備を進めます。

日本海



水産拠点

未整備漁港の整備を進めます。
各種増養殖事業による沿岸資源の拡大などにより水産振興を図ります。

「中心都市核」と「地域核」の整備

現在の石狩市役所周辺の区域を、市民サービスの拠点となる「中心都市核」として、行政機能、業務機能の集積や交通体系の機能充実を図るとともに、市民の交流やにぎわい機能、緑と水に目を向けた空間の創出を行い、新市の顔にふさわしい、利便性の高いエリアとして整備を進めます。

現在の厚田村役場と浜益村役場を中心とする区域は、地域の行政、商業・業務機能の拠点となる「地域核」として、行政施設、福祉・医療施設、文化施設などの公共施設の集積や地域密着型の商店街の整備を進めます。